

## 平成29年度第2回 小高区地域協議会会議録

- 1 日 時：平成29年5月24日（水）  
午後1時30分～午後3時30分
- 2 場 所：浮舟文化会館 第1研修室

・小高区地域協議会委員数：15人、当日出席委員：10人（欠席委員5人）

### 【出席委員名】

山澤 征 会長、 林 勝典 委員、 橘 由美子 委員、  
佐藤 直美 委員、 田中 由里子 委員、 只野 和章 委員、  
小牛田 一男 委員、 白髭 幸雄 委員、 小林 友子 委員、  
杉 重典 委員

### 【説明職員等】

小高区役所長	紺野 昌良
小高区地域振興課課長	根本 剛実
同課振興係長	門馬 修一
同課振興係主査	相良 晃平（書記）
小高区産業建設課課長	相良 裕季
小高区市民福祉課課長	堀川 信浩
企画課総合交通担当係長	東岡 裕晃
同課総合交通担当係主査	只野 誠
生活環境課課長	山田 一栄
同課環境保全係長	前田 伸吾
同課環境保全係主査	加藤 一善
環境省 水・大気環境局	
放射性物質汚染対策担当参事官室主査	永野 喜代彦

## 1. 開 会

## ○事務局

こんにちは。本日の欠席委員は、  
玉川 敬 副会長、水谷 隆 委員、西山 喜代子 委員、半杭 一成 委員、  
石川 清治 委員です。

遅参委員は、橘 由美子 委員です。

委員15人中、本日10人の出席ということで、過半数を超えております  
ので、協議書10(2)により、本日の会議は成立しております。

それでは、会長からご挨拶をお願いいたします。

## 2. 会長挨拶

(山澤会長あいさつ)

### ○事務局

次に、議事に移ります。協議書10(1)により、会議の進行は、会長が  
行うこととなります。山澤会長、議事の進行をよろしくをお願いいたします。

## 3. 議事

### (1) 会議録署名人の指名

#### ○会長

はじめに、『会議録署名人の選出』を議題といたします。

会議録署名人は、名簿順で

林 勝典 委員、佐藤 直美 委員の二名にお願いします。

### (2) 報告事項

#### ① 自動走行システム導入に向けた取り組みについて

##### ○会長

次に、報告事項①『自動走行システム導入に向けた取り組みについて』を  
議題といたします。

担当課の説明をお願いします。

(担当課：企画課 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。

○林委員

今回、不採択となった理由の中に、日立市がある一定の場所を確保できたことが大なる理由だということだが、それ以外には何かなかったのか。

○企画課総合交通担当係長

内々に聞いたところによると、日立市の鉄道が廃線になった場所で、バスを使って自動走行の実験をしている。人が入らない、車と交差しないところで、閉鎖に近い空間となっている。国としても、実証の中で事故が起きては困るということで、配慮した結果だと聞いている。

○只野委員

保護者などから実証実験の車に子供たちを乗せるのは安全なのかという声が上がっていた。自動車が使えず困っている高齢者に向けたバスの運行のほうが、より良いのではないかと思うが、その辺はどうか。

○企画課総合交通担当係長

今回実証として、小高産業技術高校と小高駅を結ぶというのは、小高産業技術高校をシンボリックな形で、採択に優位な方向になるようにという思いがあった。ただし、実証の中で子供達をスクールバスに代わってそのバスに乗せるということでは決してない。

○会長

その他、何かございませんか。  
(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、報告事項①については終了とします。

② 南相馬市営原町墓地条例の一部改正について

○会長

次に、報告事項②『南相馬市営原町墓地条例の一部改正について』を議題といたします。

担当課の説明をお願いします。

(担当課：生活環境課 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。  
(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、報告事項②については終了とします。

③ 東部仮置場再生利用実証事業について

○会長

次に、報告事項③『東部仮置場再生利用実証事業について』を議題といたします。

環境省より説明をお願いします。

(環境省 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。

○白髭委員

市の要望で3,000ベクレル以下に定められたが、当初、環境省から要望の出ていた、再生利用土壌の8,000ベクレルというのはどういった基準で作られたのか、教えて頂きたい。

この実証事業でやられている再生利用技術研究組合には、いろいろな企業が入っていると思うが、おおまかでもいいので企業の名前が分かれば教えて頂きたい。

もう一点、実証事業で遮水シートを下に敷くということだが、これは実証事業だけでなく、実際の場合も遮水シートを敷く施工に徹底していくのかどうか聞きたい。

○環境省主査

周辺住民の皆さんが受ける被曝というのが、0.01ミリシーベルトに抑えられるという計算結果から、8,000ベクレル以下とした。被曝線量を制限するためにそこから逆算をして、濃度レベルを計算していった。

次に、技術研究組合について。大成、鹿島、清水、小林など主要ゼネコンと、プラントメーカーの日立など。今年の4月1日時点で、組合会員数が38企業ある。

遮水シートについて。今回実証する場所が、仮置き場の中で場所を借りて

やるということで、仮置き場の仕様として遮水シートを敷かなくてはいけない。実際の施工、例えば道路の路体で使っていこうという際には、遮水シートを敷くという想定はしていない。

#### ○白髭委員

実際に公共事業で使われるようになると、どのように管理していくのか、非常に心配だ。

#### ○環境省主査

今後の管理方法というのを検討していかなくてはいけない。例えば、記録について、制度をきちんと考えていかなくてはいけないと考えている。心配になるべく答えられるような制度をしっかりと検討していきたいと思う。

#### ○林委員

どのような方法で再生利用土壌の濃度が基準以上なのか、以下なのかを測定するのか教えて欲しい。

#### ○環境省主査

いろいろな方法で測定しており、精度を検証している状況。トンパックをトラックに載せたまま測る方法、バックホーンでトンパックを持ち上げて、4点で測るなど。一番効率よく正しい数値が出るのかを実証でやっている。

今は、ベルトコンベアが流れていった所で、機械が線量から瞬時に濃度に換算して、3,000ベクレルより上だ、下だということで区別している。

#### ○佐藤委員

要望として聞いて欲しい。今、ここで実証事業をおこなうことで、帰還しようとしている人を不安にさせたり、営農を再開しようとしているのに風評被害に繋がったりしないかという不安がある。環境省は市とタイアップして、この場所を今後どのようにしていくかのビジョンを持って事業にあたって欲しい。

#### ○環境省主査

災害復旧事業の関係でバランス感覚を持って、地区全体のことを考えて、ということや、仮置き場のすぐ近くで今年から営農再開しようと思っているが、風評が怖いので、仮置き場や実証事業のデータをきちんと公表しろというご指摘を頂戴している。さっそく市とやり取りして、本庁とも協力する。もちろん、今日の内容も本庁と共有する。

#### ○佐藤委員

わかりました。

**○只野委員**

佐藤委員と似たような質問なのだが、場所の選定。なぜ、東部仮置き場になったのか。住民への十分な説明や承諾があったのか。

その施設は今後、処理施設にならないような事が約束されているのかを確認したい。

**○環境省**

場所の選定については、実証するにはある程度の面積が必要だということで、東部仮置き場を候補で考えている旨を、市に相談した。その後、実証ヤードを予定している土地の地権者の皆様に、使わせて欲しいと説明に行った。そこで了解を頂戴した。

もう一点、処理施設になるかならないかということについて。処理施設になるということは、今は環境省では考えていない。

**○只野委員**

許可した市としてはどうなのか。

**○小高区地域振興課長**

場所の選定について、地元の区長に集ってもらい、そこで意見を頂いた。行津地区、小谷地区など、場所の候補地はいろいろあった。行津については、地権者がいいのであれば、地元の了解を得ながら進めてよい、という了解を得ており、地元に入って説明した。

**○小林委員**

もともとの線量が0.1ミリシーベルト以下の場所だったところに、なぜ3,000ベクレルの物を持ってくるのか。普通に疑問に思ったが、それは市のほうとしては思わなかったのか。

**○小高区地域振興課長**

神山以外の東部の土を持っていっているので、比較的線量が低い物。仮置き場に持っていかずに処理が出来れば、仮置き場の場所も少なくなっていく、という発想の元に、実証実験を行って、再利用を進めていこうという市側のスタンスでもある。

**○小牛田委員**

実施場所について聞きたい。実施場所近くの宮田川は頻繁に氾濫している。汚染土壌の漏出が不安だが、どういう対策をとっているのか聞きたい。

○環境省主査

実証ヤードだけではなく、仮置場全体の問題だが、今の排水の設備は、過去2カ年の放水が一番多いところの実績を踏まえて、キャパを設定している。排水の方向、誰が責任を持ってやるのかという辺りを予め、整理をしておけるとご指摘頂いたところだ。

○小牛田委員

過去の統計は全然役に立たない。日本全国各地でものすごい雨の降り方をしている。それが小高区で起こらないという保証も何もないので、住民としては不安を感じる。

○環境省主査

説明会でも申し上げたが、水処理、水の対策については仮置き場全体を含め、検討していきたい。

○会長

ほかに、質問ございませんか。  
(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、報告事項③については終了とします。

④ 小高区商業施設整備事業について

○会長

次に、報告事項④『小高区商業施設整備事業について』を議題といたします。

担当課の説明をお願いします。

(担当課：小高区産業建設課 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。

○田中委員

予算というのは補助金も考えていると思うが、土地、建物の取得にいくらからいなのか。また、今回公募するにあたり、どういう条件を出すのか教えて頂きたい。

○小高区産業建設課長

土地、建物の取得額について、大まかに説明すると建物だけで1億8千万円。土地代については2千9百万円程度。総額は3億で考えている。

指定管理者の公募をする際に、相手側から見積もりを出して頂こうと思っている。

#### ○田中委員

見積もりの項目は何か。今、エンガワ商店に運営費を出しているが、そういう項目でどういうものを出すのか。どこまで援助するのか。

#### ○小高区産業建設課長

運営に対してはどれだけの経費がかかるのか見積もりを出してもらおう。総額の赤字がいくらというよりも、電気量にいくらか等の数字を出して頂いて、市の方で協議しながら詰めていく。

まだ要綱等は決定していないので、漠然とした回答で申し訳ない。

#### ○林委員

コミュニティスペースは必要なのか。スーパーが欲しいと言っているのに、なぜこういう物が必要なのか。

#### ○小高区産業建設課長

指定管理の施設ということになると、コミュニティスペースが必須になる。ただ、使い方としてはイートインスペースということで、買った物が食べられるということも含めて、椅子等を並べるという考えでいる。

#### ○林委員

そこで食べられるとなると、トラブルの原因になるのではないかと。そういうところを設けること自体が金の無駄遣いだと思う。場所を確保するなら、それに見合うだけの商品を並べてくれということになってしまう。その面積がもったいない。

#### ○小高区産業建設課長

ご指摘の通りだと思う。ただ、先程申し上げた通り補助金関係もあり、コミュニティスペースを設けなければいけないという状況をご理解いただきたい。

#### ○小牛田委員

開店が平成31年ということだが、開店までの期間、他の店の対応が必要なのではないか。

#### ○小高区産業建設課長

エンガワ商店については延長していきたいと考えている。上町のスーパーが開店すれば、駅前については見直しをしていく。

○会長

その他、何かございませんか。  
(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、報告事項④については終了とします。

(3) その他

① 小高復興アクション・プラン策定について

○会長

次にその他の議題に移ります。  
最初に、①「小高復興アクション・プラン策定について」を議題とします。  
事務局から説明をお願いします。

(担当課：小高区地域振興課 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。

○林委員

この地区の農業・商業・工業、それに基づいていろいろな展開があるわけだが、各分野ごとに絞った内容となるのか。農業はどういう格好に持っているのか。そういう具体的なことを今から出すということか。

○小高区地域振興課長

市の方でも自主計画を作成しているが、小高にまとめた事業がないということで、小高に特化した事業についてピックアップしていく。尚且つこれまで行政区座談会で出た問題・課題等を把握しているので、それについて対応できるような事業も盛り込んでいく。出来上がりとしては、各分野に分かれていきつつも、地区毎の特色があるので、地区毎のビジョンをまとめていきたいと思う。

○林委員

今からやらなければいけない課題は盛りだくさんで、何からやるのか、誰がその道筋をつけられるかということは大きな問題だと思う。振興課で指揮

棒を振ってくれないと、なかなか皆進んでいけないのではないかと。

○小高区地域振興課長

おっしゃるとおりだと思います。今現場サイドでは東京大学のデザインセンターで、特に浦尻行政区に入ってこの地区をどうするかということで、役員に集まって頂いて議論をしているので、他の行政区にも説明会等開きながら、展開していこうと思っている。

○会長

その他、何かございませんか。

(『なし』の声あり。)

○会長

それでは、その他①については終了とします。

② 小高区地域協議会年間予定について

③ 委員視察研修について

○会長

次に、その他②「小高区地域協議会年間予定について」およびその他③「委員視察研修について」を議題といたします。

なお、その他②③は関連しますので一括議題といたします。

事務局からの説明をお願いいたします。

(事務局(相良) 資料により説明)

○会長

それでは、ただいまの説明についてご意見・ご質問があれば、お願いいたします。

○白髭委員

研修の候補地だが、メガソーラー発電所は、私は2回も行っている。個人の考えだが、行き過ぎていると思うので、候補地としては再考して頂きたい。

○事務局

行かれていない方もいるので、改めてと考えていたが、皆様のほうでメガソーラーは行かなくていいということであれば、候補地から除いて検討したいと思う。

④ 次回会議開催日程について

○会長

次に、その他④「次回会議開催日程について」を議題といたします。  
事務局からの説明をお願いいたします。

(担当課：小高区地域振興課 資料により説明)

○事務局

次回会議開催日程は、  
7月14日(金) 午後1時30分から、浮舟文化会館で行います。  
皆さんでご都合の悪い方はいますか。  
(『なし』の声あり。)

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

○田中委員

拠点の話がないがどうなっているのか。

○小高区地域振興課長

実施設計に入っており、間もなく委員の皆様に平面図等を提供できるよう  
になっている。しばらくお待ち頂きたい。

○会長

その他、何かございませんか。  
(『なし』の声あり。)

○会長

なければ、以上をもって、本日の会議を終了いたします。

#### 4. 閉 会 (午後3時30分)

○事務局

それでは、以上をもちまして、平成29年度第2回小高区地域協議会会議  
を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。

平成29年度第2回小高区地域協議会会議録

会議録署名人 林 陽典

会議録署名人 辻 暁直美